

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 10 月 28 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472501562		
法人名	医療法人あんず会本田クリニック		
事業所名	グループホーム金泉		
所在地	〒739-2402 広島県東広島市安芸津町三津4333-1 (電話) 0846-46-1080		
自己評価作成日	平成25年8月18日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成25年9月26日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・安心、信頼、笑顔を理念として、入居者様が穏やかに生活して頂ける様努めている。・畑、花壇があり季節の花、野菜を植えて育てている。・季節ごとの行事を開催し、入居者様と職員が楽しく共有できる時間を設けている。・近くにスーパーもあるので食事の買い物に出かけ、調理から片付けまで一緒に行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホーム金泉（以下、ホーム）は、瀬戸内海の温暖な気候と、四季折々の豊かな自然に恵まれた場所に位置します。ホーム側には川が流れていたり、窓から見える木にとまる小鳥が見え隠れし、春には玄関軒にツバメがやって来ます。法人は、職員研修に力を入れ、人材育成に努めるとともに、人員配置を手厚くし、サービスの質の向上を図られています。ホームでは、食事を大切に考え入居者と一緒に行き、三食とも手作りの家庭料理を提供されています。職員は、「安心」「信頼」「笑顔」の理念を基本に、安心が信頼につながり信頼があれば笑顔があると考え、入居者に寄り添う支援に努められています。また、ホームでは町内会に加入し、町内清掃や行事に参加するなど、地域の一員として交流されています。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(1ユニット)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	独自の理念を作り、見える所へ掲示等し意識できる様にしている。 会議等で復唱、確認している。	理念は4年前に見直されました。「安心が信頼、信頼が笑顔につながっている」と考え、笑顔が達成できた時に見直しを予定されています。管理者は、年に2回アンケートを実施し、職員の思いを把握することで、心のケアや、助言を行い、理念の共有と実践に努められています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事(祭、環境整備等)に積極的に参加している。 週1回、駅の公衆トイレ掃除へ参加している。 車椅子の無償の貸し出しをしている。	ホームの行事や研修情報を回覧板で地域住民に知らせています。祭りや行事に地域住民の協力もあり、ボランティアの訪問もあります。ホームからも積極的に地域行事や催しに参加し、地域の一員として手伝わられています。また、散歩の途中に近隣住民と気軽に挨拶を交わしたり、野菜の差し入れもあるなど、日常的に交流があります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を定期的開催し参加して頂いてる。 地域の方に行事などの協力を得て、理解に努めて頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の会議録を開示し、入居者・家族に知らせている。	会議は、2か月ごとに開催されています。家族、自治区長、地域包括支援センター、市支所職員の出席があります。会議では、情報交換をしたり、意見や提案が出されたりします。会議メンバーから消火訓練やAEDの研修の参加希望が出され実施されました。また、出席者の意見からホームの環境整備に繋がった事例もあります。	
		○市町との連携			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括会議に出席し、連携を図っている。 解らない事は行政に伺い、正しい情報収集に努めている。	運営推進会議に支所担当課職員の出席があります。市町とは協力関係を築くよう努められています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	月1回「身体拘束」について会議を実施し意識強化に努めている。 午前7時～8時までには玄関開錠し、エレベーター使用も自由、また勝手口も日中は全て開錠している。	月1回の会議で、日頃のケアの中で拘束にあたる行為はなかったか具体的に話し合い、理解を深めています。帰宅願望のある入居者は、落ち着かれるまで話を聞くようにし、言葉による拘束も含めて身体拘束をしないケアに努められています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会を行い、理解と防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用されている方もおられるため、理解に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	説明をさせて頂き、意見を伺う中で、話し合いを行い、理解・納得をして頂いている。		
		○運営に関する利用者、家族等意見の反映		家族の面会時に意見を聞くようにされて	今後は 毎日の備いなどを利用して 遠

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族面会時、近況報告する中で意見・要望を伺い、迅速に対応できるよう努めている。	以前、実施していた一泊旅行をしてほしいという意見があり、実現に向けて検討されています。ホームで開く茶話会は、家族同士の会話と交流の場となっています。	次は、毎月の夜間を有効活用し、遠方の家族も意見や要望が伝えられる仕組み作りの工夫を期待します。口では言えない入居者や家族からの意見を吸いあげることができるよう、意見箱などの設置を検討されることを提案します。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年2回の面接を設け、職員の意見や思いを聞くようにしている。 また毎月1回、代表者会議等行っている。	職員の意見などは、主に副主任に伝え管理者に伝わる仕組みになっています。また、ホームで解決できないことは法人代表者会議に議題としてあげ、検討されています。管理者は職員と面接し、意見を聞く機会を持たれています。職員の不安や疑問に対しては助言や指導を行い、スキルの向上、モチベーション、職員間の連携に繋がるよう努力をされており、これからも継続していく予定です。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の面接の中で、必ず本人の仕事に対する目標やモチベーション等確認し反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	全体研修を年5回設けたり、また施設内・外の研修の参加、研修報告、自己研鑽に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設外研修の参加など。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	個別に関わり、話し(思い)を聞くよう、努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居してしばらくは、情報収集のために時間を費やしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	必要時には、柔軟に対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	行える事は一緒に行って頂き、意欲を持って頂けるような声かけに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族の思いを大切にしている。関係作りに努めている。		
		○馴染みの人や場との関係継続の支援		毎月の請求書に添えて、家族に入居者	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの病院や美容院の利用を継続している。	の状況を報告されています。その際は、入居者も一文を添えられます。家族の協力を得て、自宅へ外出、外泊される入居者もいるなど、馴染みの関係の継続に努められています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う方々で一緒のテーブルに座って頂いたり、作業をして頂いたりしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相談があった時など、支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	センター方式を活用し、発言はそのまま転記し参考にしている。	入居者との1対1の会話の中から、新たな思いがわかることがあります。「暮らしの情報シート」に、生活歴や思いや意向を記録し、把握に努められています。「皆ですると楽しい」という入居者の思いから、共同作業を楽しんだり、寺参りしたいという希望に応えておられます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時より、センター方式によるアセスメントを作成し、家族からも情報収集している。		
		○暮らしの現状の把握			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の生活記録・業務日誌を記入し把握に努めている。		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	カンファレンス・モニタリング・評価を定期的に行っている。 家族面会時には話を伺い、意見を参考にしている。	毎月モニタリングを実施し、3か月ごとに介護計画の見直しをされています。家族や全職員から意見をもらい、職員出席のもとカンファレンスを開催し、ケアマネジャーを中心に作成されています。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	日々の生活記録を細かく記入し、午前・午後、職員ミーティングで情報共有している。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	同敷地内のデイサービスのマッサージ器を定期的に利用している。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	個々の状態を把握し、生活の中で安心・安全に暮らして頂ける様努めている。		
		○かかりつけ医の受診診断		これまでのかかりつけ医の継続が可能で	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	週1回・2週1回主治医による訪問往診がある。 入居者独自の掛かり付けへ受診している。	す。受診は専門医の受診も含め、職員が支援しています。母体法人クリニックの往診や、必要に応じて歯科医の往診もあります。夜間や緊急時には、当番医を受診することもあるなど、母体法人と連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援されています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	情報を共有し、適時報告・相談しアドバイスを得ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院に行き、担当医・看護師から情報を得て、柔軟に対応できる様努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	できるだけ早い段階で、家族、主治医、職員と話し合いをし、対応に備えられる様努めている。	入居時に重度化した場合の方針について説明されています。基本的に看取りはしない方針ですが、今後の課題として検討されています。	今後は、重度化した場合の対応研修を実施し、職員間で意識を統一しておかれることを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアル作成し、消防による指導を受け勉強会を行っている。		
		○災害対策		消防署立合いのもと、年2回の避難訓練	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を定期的に開催し、地域の方にも参加を呼び掛けている。	を実施されています。うち1回は、夜間想定 の訓練を実施されています。運営推進 会議で、地域住民への協力依頼や災害 時ホームでできることについて伝えら れています。会議参加者から、「災害時の 役割を与えてほしい」という意見があり、 地域との協力体制作りを検討されていま す。	

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	性格や思いを理解し、対応できるように努めている。	人生の先輩として、入居者を尊重した言葉かけや対応を心がけておられます。排泄の声かけもさりげなく行われているのが確認できました。排泄、入浴、更衣時は必ず戸を閉めるなど、プライバシーや羞恥心に配慮した対応に努められています。また、入居者のことは人前で話さないことを徹底されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	できるだけ問いかけるような声かけに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々のペースに合わせ生活して頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服と一緒に選んだり等の支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>できる事は一緒に行って頂きながら、調理や片付けを行っている。 食べやすいように工夫し、提供できる様努めている。</p>	<p>家庭と同じように、店舗に並ぶ旬の食材や、冷蔵庫にある食材を見て、職員が献立を立て調理されています。毎週火曜日の夕食は、入居者のリクエスト食となります。天気の良い日はテラスや、駐車場で食事を楽しまれています。2か月ごとに外食に出かけたり、ドライブ途中にお茶を飲む楽しみもあります。</p>		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事や水分量を記録し、水分をあまり飲めない方はこまめに提供している。</p>			
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行っている。</p>			
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレでの排泄ができるよう、個々の排泄パターンに合わせたトイレ誘導を行うよう、努めている。</p>	<p>排泄チェック表でリズムを把握し、声かけ誘導されています。日中、布パンツで不安な入居者はバットを使用し、安心感に繋がる支援にも取り組まれています。夜間は、入居者の状況に合わせてポータブルトイレを使用するなど、自立に向けて支援されています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日牛乳を飲んで頂いたり、体を動かして頂くよう働きかけている。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>個々の希望やタイミングに合わせて入浴して頂けるよう努めている。</p>	<p>毎日、10時から17時の間に入浴できます。身体的に不安のある入居者は、入浴回数を少なくしたり足浴の提供をされています。ホームでは、入居者一人ひとりの入浴の習慣を尊重した対応に努め、毎回、湯を入れ替えるなどの工夫をされています。希望があればデイサービスの露天風呂に入る楽しみもあります。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>寝具や室温調整を行い、ゆっくり休んで頂けるよう、支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>理解できるよう努めている。日々の症状、状態の変化は記録している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>趣味や得意な事等、行って頂けるよう支援している。</p>		
		<p>○日常的な外出支援</p>		<p>日常的には、近隣や敷地内を散歩した</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望に合わせて外出できるよう努めている。 地域の行事、祭等は必ず参加している。	り、畑に出かけたりされています。また、建物内とホームの敷地内でウォークラリーを催したり、気候が良い時は、駐車場でラジオ体操や食事を楽しまれています。年間で行事計画を立て、秋には日帰り旅行が恒例になっています。家族の協力で買い物や外食、自宅に外出する入居者もおられます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物に出かけた時、本人に支払いをしてもらったりしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望に応じて行っている。 月1回のお手紙に、本人に一言記入してもらったり、家族から荷物が届いたら、本人からお礼の電話をするようにしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	衛生管理や季節感作りに努めている。	日当たりが良く、明るい共用フロアです。窓からは街の山手の景色が眺めることができます。キッチンからは調理の匂いや音が聞こえ、季節感、生活感が感じられます。リビングに隣接して設置されたテラスで食事を楽しまれたりしています。畳スペースでは、入居者が横になったり、洗濯物を畳むスペースにもなっています。リビングをシンプルにし、入居者が安全に居心地良く過ごせるよう工夫されています。	
		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファや掘りごたつ等、自由に過ごして頂けるよう場所作りをしている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	馴染みの物を持って来られている。	ホームでは、馴染みの物を持ち込んでもらうよう声かけされています。入居者は、仏壇や机、椅子、姿見など、使い慣れた家具や、好みの品を持ち込み、個性に合わせて居心地良く過ごせるよう工夫されています。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	掃除やゴミ捨て等、一緒に行っている。モニタリング等行い、出来る事・出来ない事などの把握に努めている。		

V アウトカム項目(1ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(2ユニット)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	独自の理念を作り、見える所へ掲示等し意識できる様にしている。 会議等で復唱、確認している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事(祭、環境整備等)に積極的に参加している。 週1回、駅の公衆トイレ掃除へ参加している。 車椅子の無償の貸し出しをしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を定期的開催し参加して頂いてる。 地域の方に行事などの協力を得て、理解に努めて頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の会議録を開示し、入居者・家族に知らせている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括会議に出席し、連携を図っている。 解らない事は行政に伺い、正しい情報収集に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>月1回「身体拘束」について会議を実施し意識強化に努めている。</p> <p>午前7時～8時までに玄関開錠し、エレベーター使用も自由、また勝手口も日中は全て開錠している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会を行い、理解と防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度を利用されている方もおられるため、理解に努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>説明をさせて頂き、意見を伺う中で、話し合いを行い、理解・納得をして頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族面会時、近況報告する中で意見・要望を伺い、迅速に対応できるよう努めている。</p>		
		○運営に関する職員意見の反映			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年2回の面接を設け、職員の意見や思いを聞くようにしている。 また毎月1回、代表者会議等行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の面接の中で、必ず本人の仕事に対する目標やモチベーション等確認し反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	全体研修を年5回設けたり、また施設内・外の研修の参加、研修報告、自己研鑽に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設外研修の参加など。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	センター方式を活用している。 個別に関わる時間を多く設け、記録しケアに努めている。		
		○初期に築く家族等との信頼関係			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居してしばらくは、情報収集のために時間を費やしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	必要時には、柔軟に対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の意思が尊重できる様、共働している。 毎日の家事を一緒に行い、食事・おやつなども全員で食べている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	行事・茶話会には参加し頂き、お互いが協力し合える関係作りを築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの病院や、美容院など継続して利用している。		
		○利用者同士の関係の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者同士が共用できる場所や、時間を積極的に設けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要時には対応している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	センター方式を活用し、発言はそのまま転記し参考にしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時より、センター方式によるアセスメントを作成し、家族からも情報収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の生活記録・業務日誌を記入し把握に努めている。		
		○チームでつくる介護計画とモニタリング			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	カンファレンス・モニタリング・評価を定期的に行っている。 家族面会時には話を伺い、意見を参考にしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の生活記録を細かく記入し、午前・午後、職員ミーティングで情報共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	同敷地内のデイサービスのマッサージ器を定期的に利用している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	個々の状態を把握し、生活の中で安心・安全に暮らして頂ける様努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	週1回・2週1回主治医による訪問往診がある。 入居者独自の掛かり付けへ受診している。		
		○看護職員との協働			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	情報を共有し、適時報告・相談しアドバイスを得ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院に行き、担当医・看護師から情報を得て、柔軟に対応できる様努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	できるだけ早い段階で、家族、主治医、職員と話し合いをし、対応に備えられる様努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアル作成し、消防による指導を受け勉強会を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を定期的開催し、地域の方にも参加を呼び掛けている。		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者の方の尊厳を大切にし、「自分だったら」と置き換え、気持ちを充分理解するよう心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々に応じてた関わりを持ち、本人の意思・希望等で決めて頂きながら、生活して頂けるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々に声かけをし、その人のペースに合わせ、希望に添える1日が過ごせるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月1回出張美容サービスを受け、希望する髪型を伺い対応している。 馴染みの美容院を利用されている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材の買い物・調理・片付けまで一緒に行っている。 旬の食材を取り入れ、一緒に楽しく食事ができる様にしている。		
		○栄養摂取や水分確保の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	主治医のアドバイス等も参考にしている。食事・水分量は記録し、個々の嗜好把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	個々に合わせた口腔ケアを毎食後行っている。 歯科医師とも連携を図っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表、個別生活記録に記入し、排泄間隔パターンの理解に努め自立支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄表・個別記録と共に毎日チェックしている。 食事の工夫、乳製品の摂取、軽い運動等実施している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	一人ひとりの希望を伺い声を掛け、いつでも入浴できる様準備しています。		
		○安眠や休息の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりに合わせて、いつでも安心して休息して頂けるようにしている。 日中の活動・着衣・食事・室温等、工夫に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	入居者の方個々の既往歴や、服薬の一覧表を作成し、確認・理解できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	センター方式を参考にし、生活歴や力を活かした生活が過ごせるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご希望に合わせて、散歩・買い物積極的にしている。 外食やドライブも希望に添えるよう努めている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人・家族の希望で常にお金を持っている方もいる。 安心して買い物ができるよう支援している。		
		○電話や手紙の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	毎月1回手紙を出しており、ご本人が書いて出せるよう支援している。 希望時には電話をしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用空間は換気や掃除をし、快適に過ごして頂けるよう努めている。 季節の花を飾ったり、植物を育てている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食堂の席・ソファ・サンルーム・掘りごたつを活用し工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時、馴染みのある食器類・家具を持ち込んで頂いている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居宅・トイレの入り口には、プレートを設置し、入居者様が迷われないよう工夫している。		

V アウトカム項目(2ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム金泉

作成日 平成 25 年 11 月 14 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族の意見・要望が十分に汲み取れていない。	家族が行事参加などGHに出向く機会が増える。	意見・要望・苦情等言いやすいよう, 対応係を受付等に大きく掲示する。	1か月
				面会時等に, GH改善のための意見等アンケートに記入してもらう。	6か月
				面会時に, 食事またはおやつを提供し, 食に関するアンケートを記入してもらう。	1年
2	10	環境整備が不十分。	いつでも清潔な環境で生活できる。	居室ごとに「掃除・物品チェック担当者」を明記し, 責任を持って管理していく。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。